

目ざすは
年間をとおした
野菜づくり

冬の野菜づくりを応援しました!



生産者団体の展示ほで、
早春レタスの講習(甲斐市)



冬野菜の作型や品種を紹介しました。
直売所では大人気との声も

中北地域普及センターでは、一年を通して栽培講習会の開催を支援していますが、近年、冬野菜をテーマにした指導依頼が増えてきました。2~3月の時期は県産野菜が少なくなるため、出荷品目の拡大が求められています。

そこで今年度は、総合農業技術センターの成果である、厳冬期どりコマツナ、チンゲンサイ、コカブおよび早春どりレタスのトンネル、無加温ハウス栽培の普及に努めています。

実際に栽培した生産者からは「直売所に出荷するとすぐに売り切れて好評なので、種を追加注文した」「他の品目にもチャレンジしたい」等の声が寄せられました。

今後も作型や品目選択について、広域的に支援を行っていきます。

中北地域普及センター



農事組合法人で冬野菜の試作を行いました



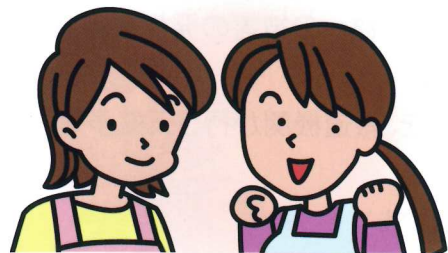
女性の方で新たな商品開発に取り組みました!!

峡東地域普及センター

峡東地域の農村女性起業グループの活動は、イベントや道の駅、直売所での販売活動が中心ですが、果樹地域での忙しい農作業の傍らの活動であることから、新たな特産品を開発することは非常に難しい状況にあります。そこで、地域普及センターでは事業を活用し、外部専門家の意見を取り入れ、付加価値の高い商品を開発するための支援を行っています。

今年度は、山梨市牧丘町西保地区で活動をしている、鼓川温泉市場組合手作り工房「乙女の郷」を対象に、主力商品の手作り味噌を使ったお菓子の開発に取り組みました。レシピの開発として料理専門家を招き、数種類のお菓子を試作する中で、味噌マフィンと姉妹品として地元産の巨峰ジャム、梅干を練り込んだ3種類のマフィンの開発を行いました。また、中小企業診断士を招き、直売所などで商品を優位に販売するための方法として、商品のネーミング、POP作成について学びました。文字の書き方の実習や具体的に新商品の味噌マフィンについてPOPに書く内容をみんなで考えました。今年度の活動成果である新商品は2月22日~24日に開催された山梨県地場産業祭りで販売され好評でした。今後は消費者からの意見を商品に反映させていくことが課題です。

普及センターでは、引き続き起業グループの活動がさらに発展するように支援を行っていきます。



焼き上がった試作マフィン



POP作成のために書き方の練習をしています

直売所の冬期販売品目増加のための支援しました

峡南地域普及センター

富士川町のJAふじかわ増穂直売所では、地元生産者が栽培した野菜や花きなどを販売していますが、特に冬期に直売所に並ぶ品目が少なくなるという課題があります。峡南地域普及センターでは、JA、直売所と連携し、冬期の販売品目を増やすため、冬期穫り野菜の導入に向けた取り組みを始めました。

直売所生産者組織(JAふじかわ増穂直売会)を対象に、冬期穫り野菜(コマツナ、チンゲンサイ、コカブ)のトンネル栽培展示ほを設置しました。栽培講習会や現地検討会を開催したところ、冬期にも畑を利用して栽培出荷を行いたいという生産者からは、来年は取り組みたいという声も聞かれました。

また、課題として今年の冬が寒かったこともあり収穫期の遅れが見られたため、改善に向けた指導を行っていきます。

今後は、厳冬期作に取り組みもうとする農家に栽培技術を広め、周年を通しての品揃えを増やしていくように活動を続けていきます。

目ざすは
年間をとおした
野菜づくり



1重トンネルのコマツナ
(11月20日播種1月10日撮影)の生育状況



講習会に集まった生産者組織の皆さん
(富士川町天神中条地区)

農業基礎技術講習会を開催しています

富士・東部地域普及センター

富士・東部地域普及センターでは、管内3つの市・町と連携して、農業の初心者を対象とした基礎技術講習会を開催しています。

このうち、都留市では今年度から受講生を新たに募集し、畑を使った実技講習会を始めました。

西桂町と大月市では、多くの受講生が2年目を迎え、うね立てやマルチ張りなどの農作業、クワ・カマの



獣害防止ネットを設置(大月市)



学校給食用バレイショの選別作業(西桂町)

農具や管理機といった簡単な機械の使い方や、農作物の管理についての知識にも習熟してきました。今年度は、栽培品目を増やしたほか、獣害防止ネットを利用した柵作り、学校給食への試験的な出荷など新たな内容にも挑戦し、農産物の販売を始める受講生も現れています。

平成25年度は、作業計画づくりや栽培管理などを受講生の自主性に任せた運営ができるよう引き続き支援していきます。